



せいひ会だより 3月号

2018年(平成30年)
4月1日発行
<第216号>
社会福祉法人せいひ会
http://www.seihikai.jp/



-満開の桜の下でお花見-

今年の桜もきれいに咲きました。幼木を植えてから早17年。桜の季節の憩いの場となりました。お散歩のついでに花見タイム。お天気に恵まれて長く楽しめそうです。

(コミュニティセンター元亀の桜)

3月の行事

- 03日 ひなまつり(GH・風和・通所介護・寿限無・じゅげむ)
- 06日 通報訓練(シニアヴィレッジ)
- 07日 運営推進会議(通所介護)
- 15日 運営推進会議(寿限無・じゅげむ)
- 28日 AED心肺蘇生法講習(寿限無)

4月の行事予定

- 02日 平成30年度せいひ会年初式
- 上旬 花見(GH・寿限無)
- 20日 GHせいひ第1回運営推進会議(GH)
- 25日 消火訓練(寿限無)



3月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます



三枝 熊夫様 野川 セヲ様 林 ワカ様 楠本 トクエ様 岩崎 和子様 小濱 恵美子様 北川 静江様 飯口 アキエ様



松尾 ヤエ様 峰 ヤス様 前川 ハルノ様 木戸 愛子様 井村 オコ様 楠本 ノエ子様 志田 光枝様 長井 ミツ様



高松 恵美子様 谷口 ヒロ様 瀬石 幸男様 西浦 キミエ様 川口 カメ様 岩下 サク様 木場 秀徳様 藤尾 シヅ様



中村 ミツ様 山口 ヨシエ様 田添 ツル様 江尻 スギ様 尾口 チカエ様 榎本 照美様 北川 ヒサ子様



田中 キレイ様 中村 スミ子様 中島 マツ様



平野 マサ様 田中 義美様 千田 静代様

今回は風和の里：平野マサ様にお話を伺いました

亀岳村・亀浦の田島で7人兄弟の3番目として生まれる。亀岳小学校へは、田島から手漕ぎ船で海を渡っていたとのこと。雨風がひどい時には、船が出せないで欠席していた。「欠席すれば勉強がわからなくなり、学校がおもしろくありませんでした。どうしても学校に行きたくない時は『山学校』でしたよ。」と笑われていた。「昔は、学校に行くよりも家の手伝いをする流れだったので、田や畑づくりとかおじさんの子供の子守りもしてました。」と話された。

18歳で結婚し6人の子供に恵まれた。ちょうど戦争が始まった頃だったそうで、「政府からは野菜や米を持って行かれ、6人の子供を食べさせていくのもやっとなりました。働いてもお金は出てこずひどい暮らしでした。」と、苦勞した様子を語られた。

50歳頃から、ヤクルト配達の仕事を84歳まで続けた。一番多い時で50件ほど、朝は暗いうちから走って配っていた

とのこと。長男夫婦が共働きだったため、配る合間に孫を引き取りに行き、配り終わった後は孫守りや家事をして過ごしていた。話しながら「苦勞ばかりが頭に浮かびます。」と苦笑い。楽しい思い出は？とたずねると、「80歳から始めたグランドゴルフが楽しかった！」とのこと。日により調子は違ったが、週に数回は楽しんでいただとのこと。

現在は風和の里で生活されている。手先が器用で、居室にはお手製のちりめん細工がきれいに飾られている。また、時間を見つけては、同じユニットの方と五目並べも楽しませている。「職員さんにもいろいろお世話になってます。腰が痛くなければ...。自分の体に不満です。」と、笑いながら話されていた。

これからも、好きなことを続けながら元気にお過ごしください。

Vitality Space

バイタリティー・スペース



じゅげむ：松江恵美子



じゅげむ：大坪公子

希望

風和：南アサヨ

彼岸
へり
山脇良人

通所：山脇良人

日光

井手カズエ

風和：井手カズエ

新鋭進
秋浦克敏

通所：秋浦克敏



通所：荒瀬美智子

春

通所：島田芳枝

(写真左)
じゅげむ利用者皆で作ったひな祭り飾りです。本当に花が咲いたかのような出来栄でした。



春立つや
庭の植木が
芽吹きする
(風和) 立石ミドリ



じゅげむ：山本一枝

タンギークラブ



今年度のタンギークラブ終了しました。4月から30年度が始まります。「タンギー」とは「タヌキ」のこの地方の方言。シニアヴィレッジせいひの機能訓練室の「マシーン」を使って週1回リハビリを行います。興味のある方は西海市にお問い合わせください。



夜間想定避難訓練



3/14(水)、寿限無にて。新人・未経験者中心に参加。地元の方や消防団員の立会いのもとで貴重なご意見を頂くことができました。

新人職員紹介



元亀の里
村田和優さん

介護職は初めてなので、慌てず一呼吸おいて、確実に覚えていきたい

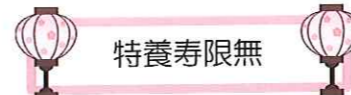
なかやま認定こども園

中山保育園がコミュニティセンター元亀の隣(元・元亀の里職員駐車場)に新築・移転しました。子供たちの元気な姿や声が聞こえてきます。よろしくね(^o^)



ひな祭り

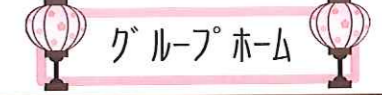
3/3日は女性の節句、ひな祭りの日でした。各施設ではひな祭りにまつわるクイズ、ミニゲームなど趣向を凝らして当日を楽しみました。



特養寿限無



風和の里



グループホーム



ずいずい
随・随

ずっころばし

せいひ会の職員が、思うがままをリレー方式で綴るコーナー。今月は、元亀の里・戸村さんです。

新年度が始まり、入学や入社で新生活が始まっている方も多いのではないのでしょうか。私も今年でせいひ会に入職して3年が経過し、更には平成30年3月で33歳を迎えました。この数の並びを見て少しニヤツとしてしまったところで、テーマについてですが、勤の鋭い方はお気づきかもしれませんが「3」という数字をテーマにしたいと思います。この「3」という数字は昔から日本では縁起のいい数字として扱われているため、この数字を好む方は私以外にもいらっしゃるかと思います。例えばことわざの中に「三つ子の魂百まで」、「石の上にも三年」、「三度目の正直」、「早起きは三文の徳」、「仏の顔も三度まで」など「3」という数字は多く使われています。古事記には三種の神器というものが登場し、国宝にも「三十三間堂」があり、三位一体、御三家、三大〇〇と表現されることが多く、七五三、三三七拍子、三々九度にも「3」という数字が使われています。

この「3」という数字は「調和」を表す数字として扱われているようで、二や四などの偶数では割り切れてしまうことから対立を生む、とされていますが、五では何となく多すぎる、という事で「3」が好まれているようです。他にも、一で点、二で線、三で初めて面となり、全てが揃うという見方もあったり、「三つ」の発音が「満つ」や「充つ」と似ていることから縁起が良い、など諸説あるようです。

私は元から験を担ぐ方ではないですし占いなども信じているほうではないのですが、今年はずいずい「3」に囲まれていることもあるので、この新しい季節に「3」にあやかり、私にも皆さんにもなにか3つくらい良いことが起きて、追い風になって気持ちよくスタートが切れればいいなあと思います。